

活動団体： 特定非営利活動法人ケニアの未来

～子どもたちをすくい上げられるしなやかな社会を作る～

団体の活動



「自分が大切にされている存在だと自覚しながら、自尊感情を持って、社会と関わり生きていく大人になること、それを実現できる社会」を目指し、ケニアで子どもに対する暴力・子どもを巻き込む犯罪に対する予防活動を行っています。子どもの居場所事業や個別教育支援事業の他、保護司の導入・育成、児童保護ボランティア活性化、早期妊娠予防、非行防止活動を実施。2022 年と 2024 年には JICA 草の根技術協力事業の好事例として紹介されました。

<https://kenyanomirai.org>



地域ボランティアによる早期妊娠予防啓発活動



小学校での非行防止クラブ活動

インターンプロフィール

甲斐田真希



大学で国際開発学を専攻し、卒業後 2023 年 3 月から当団 thể現地インターンとしてケニアで活動に携わる。7 ヶ月間の現地インターンと国内インターンを経て、2024 年 1 月から事務局兼ケニア事業スタッフとして従事を開始する。

所属団体に活動するきっかけ

大学在学中に現地インターンの募集を目にしたのがきっかけです。住民参加型開発とジェンダー開発への関心が強く、当時、住民主体で早期妊娠予防活動を実施していた当団体に直接現場を見たいと思い応募しました。

どのような業務(活動)をおこなっているか

ケニア事業と国内事業の両方に携わっています。ケニアでは、非行や早期妊娠のリスクが高くなる学校の長期休暇期間に居場所を提供する「子どもの居場所事業 Nafasi」の実施運営を担当しています。国内では、インターンと日々会議をしながら団体の広報やイベントの企画運営をしています。

スキルアップのためにしていること

事業地の文化・社会的背景を理解するために、ケニアの社会制度、文化的価値観、言語などを勉強しています。国内事業では、団体の魅力を応援して下さる方々の興味に沿って発信できるように、日々試行錯誤しています。

海外研修について ～どこで何を行う予定？

ケニアのマチャコス地方で、長期休暇時期に実施している「子どもの居場所事業 Nafasi」事業の運営に携わります。会計業務や監査報告書の作成補佐なども行い、現地事業で必要な総務についても学ぶ予定です。

今後のビジョンは？

現場経験を積んだ後、理論についても深く学ぶために大学院に進学したいと思っています。将来的には内発的かつ持続可能な発展のためのプロジェクトの調査、立案、実施、評価までできる専門家になりたいです。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

私自身もまだまだ道半ばですが、国際協力分野で働くには本当に色々な入り口、関わり方があると日々感じています。その中で、自分に合う働き方が見つけられるように皆さんと一緒に頑張っていけたらと思っています。

団体アピール

ケニア行政や地域住民と一緒に、草の根レベルで人々の受け皿となるような社会づくりに取り組んでいる団体です。オンラインや対面のイベント、現地でのスタディプログラムなども実施しています。ぜひご参加ください！